

第92期 中間事業報告書

自 平成17年4月1日 至 平成17年9月30日



日本化成株式会社

<表紙「リンゴを積んで」池田ヒロミ>

株主の皆様へ



当社グループは、本年度から3カ年の新中期経営計画「New DS Plan 21」に取り組んでおりますが、当上半期におきましては、次のとおり施策を実施いたしました。

まず、親会社である三菱化学(株)から昨年12月1日に当社に統合したアンモニア系製品事業において、設備を集約する等の合理化策を推し進め、ディーゼル車脱硝用高品位尿素水「Ad Blue (アドブルー)」の販売活動を本格化する等、基盤事業の強化を図りました。

また、集中事業に位置付けた、同じく三菱化学(株)から本年4月1日をもって譲り受けた合成石英事業とタイク(ゴム、プラスチック架橋助剤)及びその誘導品については、事業範囲の拡大や用途開発に注力しました。

一方、ジメチロールピオン酸・ジメチロールブタン酸事業及びヘキサメチレンテトラミン(ウロトロピン)事業は、再編・再構築事業に位置付け、将来性、市場動向等様々な観点から事業性を精査した結果、撤退することといたしました。

このように当上半期は、既存事業の合理化・効率化を進め、また、新たに事業を得たことにより、当初の予想を超える営業成績をあげることができました。

しかしながら、原油価格高騰に起因する原材料価格の高止まりの可能性等、当社を取り巻く環境は依然として厳しく、下期につきましては楽観を許さない状況にあるといえます。このため、中間配当につきましては、本年度におきましても誠に遺憾ながら見送ることとさせていただきます。

また、当社及び当社グループは、このような厳しい経営環境にあることを勘案し、本年度通期の業績見通しは、本年5月17日付の発表のまま、連結売上高は43,000百万円、連結営業利益は1,080百万円、連結経常利益は930百万円、連結当期純利益530百万円を見込んでおります。

依然として、当社及び当社グループの売上の大半は、原油価格の動向に影響を受けやすい基盤事業に依存している状態であることは厳然たる事実でありますので、引き続きコストの削減、積極的な合理化を推進し収益向上を目指しつつ、集中・育成事業を拡大していくよう努めてまいります。株主の皆様におかれましては、何卒倍旧のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年12月

取締役社長

松永 正大

当社グループの営業の概況

当中間期におけるわが国経済は、企業収支の改善や設備投資の増加、個人消費の改善など、緩やかに回復してまいりました。一方で、原油価格の高止まり等、先行きの不透明感は拭い切れませんでした。

原油価格に起因する原材料価格の動向が当社グループに与える影響は大きく、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

このような情勢の下、当社グループは、販売価格の是正、数量の確保等、営業活動に注力するとともに、引き続き徹底したコスト削減を推進し、業績の維持向上に努力いたしました。

特に、平成16年12月1日付で三菱化学(株)から当社に集約統合したアンモニア系製品事業を、既存のメタノール・ホルマリン事業とともに基盤事業として位置付け、一層の合理化・効率化を推し進める一方、本年4月1日付で同じく三菱化学(株)から譲り受けた合成石英事業は、既存のタイク・タイク誘導品事業とともに集中事業として位置付け、事業の拡大を図りました。

この結果、当中間期の連結売上高は21,122百万円（前年同期比52.3%増）となりました。損益におきましては、営業利益は517百万円（前年同期比365.8%増）、経常利益は467百万円（前年同期比248.5%増）となりました。一方、当中間期において当社小名浜工場のユーティリティ合理化によるボイラー発電設備等の停止に伴う固定資産減損損失として特別損失217百万円を計上いたしましたが、中間純利益につきましては、136百万円を確保することができました。

セグメント別の概況

(無機化学品事業)

硝酸、液安等のアンモニア系製品は、三菱化学(株)から当社へ事業集約したこと、販売価格の是正が進んだこと等から前年同期に比べ売上高は大幅に増加しました。ゴム用カーボンプラックは、主要ユーザーが堅調に推移したことにより売上は増加しました。

三菱化学(株)から譲り受けた合成石英事業は、当中間期から売上を計上いたしました。

その結果、部門全体の売上高は9,896百万円（前年同期比306.4%増）となりました。

(機能化学品・化成品事業)

脂肪酸アמיד、タイク（ゴム、プラスチック架橋助剤）は、国内は堅調に推移しましたが、海外向けは伸び悩みました。電子工業用高純度薬品は、IT関連需要は復調傾向にあるものの減販となりました。

メタノール及びホルマリンは、原料メタノールの国際市況高騰に伴う販売価格の上昇により売上は増加しました。木材加工用接着剤は、住宅建設の着工件数が増加傾向にあり増販となりました。

その結果、部門全体の売上高は8,059百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

(エンジニアリング事業)

一般プラント工事の受注については伸び悩み、売上高は前年同期並みとなりました。

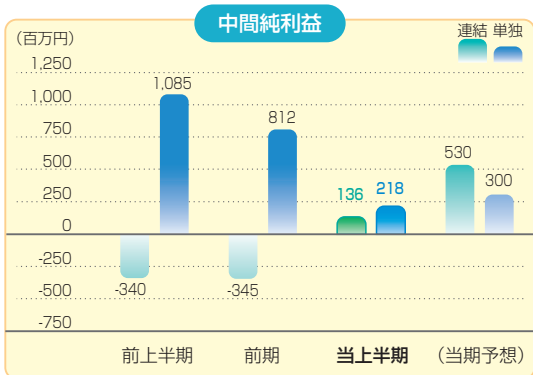
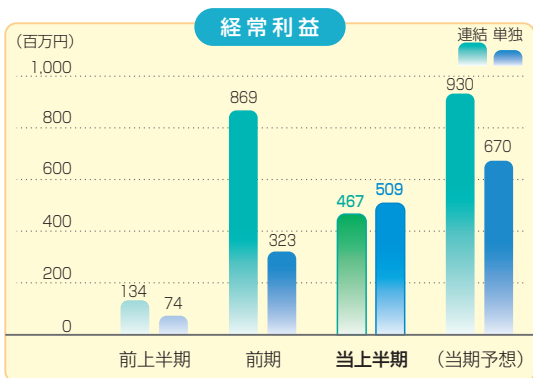
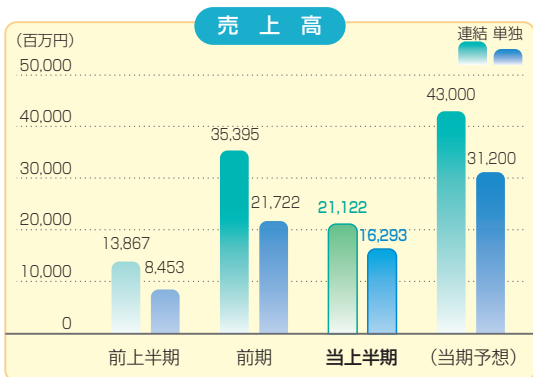
その結果、部門全体の売上高は1,066百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

(その他事業)

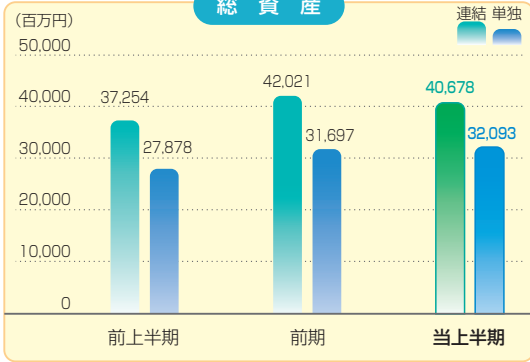
産業廃棄物処理関連業は、堅調に推移しましたが売上高は若干減少しました。

その結果、その他事業全体の売上高は2,101百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

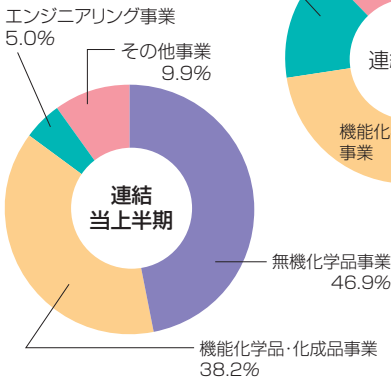
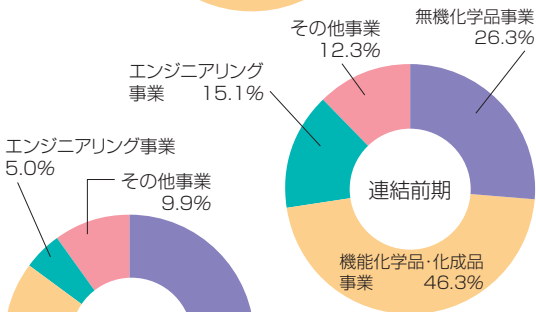
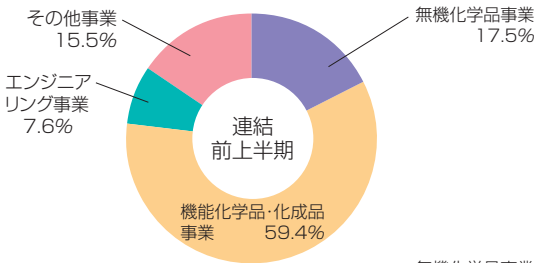
業績の推移（及び予想）



総資産



セグメント別売上高構成比



中間連結貸借対照表 (平成17年9月30日現在)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
流動資産	18,884	流動負債	24,950
現金・預金	1,451	支払手形及び買掛金	6,878
受取手形及び売掛金	11,972	短期借入金	15,424
棚卸資産	4,530	未払法人税等	249
繰延税金資産	200	賞与引当金	390
その他	731	その他	2,009
固定資産	21,794	固定負債	6,482
有形固定資産	16,759	長期借入金	3,308
建物及び構築物	4,815	退職給付引当金	3,060
機械装置及び運搬具	4,261	連結調整勘定	4
土地	7,300	その他	110
建設仮勘定	105	負債合計	31,432
その他	278	(少数株主持分)	
無形固定資産	1,322	少数株主持分	115
営業権	1,244	(資本の部)	
その他	78	資本金	6,593
投資その他の資産	3,713	利益剰余金	2,462
投資有価証券	1,737	株式等評価差額金	78
繰延税金資産	1,678	自己株式	△2
その他	323	資本合計	9,131
貸倒引当金	△25		
資産合計	40,678	負債、少数株主持分及び資本合計	40,678

中間連結損益計算書 (自 平成17年4月1日 至 平成17年9月30日)

摘 要	金 額	
	百万円	百万円
売 上 高		21,122
売 上 原 価		16,939
売 上 総 利 益		4,183
販売費及び一般管理費		
販 売 費	1,564	
一 般 管 理 費	2,102	3,666
営 業 利 益		517
営業外収益		
受 取 利 息	3	
受 取 配 当 金	32	
国庫補助金受贈益	27	
そ の 他	104	166
営業外費用		
支 払 利 息	84	
固定資産圧縮損	27	
持分法による投資損失	6	
そ の 他	99	216
経 常 利 益		467
特別損失		
固定資産減損損失	217	217
税金等調整前中間純利益		249
法人税、住民税及び事業税	232	
法人税等調整額	△ 133	99
少 数 株 主 利 益		14
中 間 純 利 益		136

中間貸借対照表 (平成17年9月30日現在)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
流動資産	13,303	流動負債	18,538
現金・預金	751	支払手形	29
受取手形	1,428	買掛金	3,909
売掛金	7,219	短期借入金	12,776
棚卸資産	3,021	未払金	461
未収入金	326	未払法人税等	207
前払費用	82	未払事業所税	17
短期貸付金	307	未払費用	829
繰延税金資産	122	賞与引当金	205
その他の流動資産	44	その他の流動負債	102
固定資産	18,790	固定負債	5,638
有形固定資産	14,723	長期借入金	2,952
建物	2,539	退職給付引当金	2,637
構築物	1,476	その他の固定負債	48
機械装置	3,415	負債合計	24,177
車両運搬具	13		
工具器具備品	179	(資本の部)	
土地	6,993	資本金	6,593
建設仮勘定	105	利益剰余金	1,270
無形固定資産	1,272	中間未処分利益	1,270
営業権	1,243	株式等評価差額金	54
諸利用権	11	自己株式	△2
ソフトウェア	17	資本合計	7,916
投資その他の資産	2,795	負債及び資本合計	32,093
投資有価証券	705		
子会社株式	460		
長期貸付金	12		
長期前払費用	165		
繰延税金資産	1,377		
その他の投資等	90		
貸倒引当金	△16		
資産合計	32,093		

中間損益計算書 (自 平成17年4月1日 至 平成17年9月30日)

摘 要	金	額
(経常損益の部)	百万円	百万円
営業損益の部		
営業収益		16,293
売上高	16,293	
営業費用		15,769
売上原価	12,976	
販売費及び一般管理費	2,793	
営業利益		523
営業外損益の部		
営業外収益		172
受取利息及び配当金	90	
その他の収益	81	
営業外費用		186
支払利息	69	
その他の費用	116	
経常利益		509
(特別損益の部)		
特別損失		217
固定資産減損損失	217	
税引前中間純利益		291
法人税、住民税及び事業税		209
法人税等調整額		△136
中間純利益		218
前期繰越利益		1,052
中間未処分利益		1,270

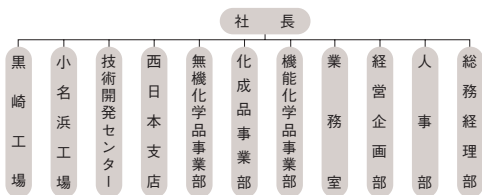
会社概要 (平成17年9月30日現在)

- 商号 日本化成株式会社
- 英文社名 Nippon Kasei Chemical Company Limited
- 本店所在地 福島県いわき市小名浜字高山34番地
- 資本金 6,593百万円
- 創立 昭和12年9月1日

会社組織及び主要な事業内容

組織図

(平成17年10月1日現在)



平成17年10月1日をもって「グリーンビジネス部」を廃止いたしました。

主要な事業内容

(平成17年10月1日現在)

部門別	主要製品名
機能化学品事業部	紫外線硬化樹脂、脂肪酸アמיד、ワックス、タイク（ゴム、プラスチック架橋助剤）、有機フィラー、医農薬中間体、電子工業用高純度薬品、2-ピロリドン（有機溶剤）、キルパー（土壌殺菌剤）、感光性樹脂原料等
化成品事業部	メタノール、ホルマリン、工業用尿素、硫酸、接着剤、蒸溜事業等
無機化学品事業部	硝酸、硝酸塩類、液安、混酸、液体尿素、高品位尿素水、ゴム用カーボンブラック、合成石英等



役員

(平成17年10月1日現在)

地位	氏名	担当又は主な職業
取締役社長 (代表取締役)	松 永 正 大	
常務取締役	大 兼 勝 彦	小名浜工場・黒崎工場担当、RC (品質保証、環境、保安・安全)、NKC活動担当
取締役	首 藤 静 夫	総務経理部・人事部担当
取締役	斎 藤 和 芳	機能化学品事業部長
取締役	高 田 忠 廣	化成品事業部長
取締役	五十嵐 俊 明	小名浜工場長
取締役	越 智 仁	経営企画部長 兼 三菱化学(株)理事 機能化学企画部門無機部長
取締役	原 山 博 志	三菱化学(株)常務執行役員 (機能化学セグメント分担)
取締役	安 田 正 介	三菱商事(株)執行役員 機能化学品本部長
常勤監査役	川 村 邦 生	
常勤監査役	門 屋 利 男	
監査役	内 藤 明	三菱化学(株)執行役員 機能化学企画部門長
監査役	山 口 和 親	三菱化学(株)理事 機能化学企画部門 管理部長

- (注) 1. 取締役原山博志及び安田正介の両氏は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。
2. 監査役川村邦生、門屋利男、内藤 明及び山口和親の4氏は、「株式会社
社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める
社外監査役であります。



株式の状況 (平成17年9月30日現在)

- ① 会社が発行する株式の総数 200,000千株
- ② 発行済株式の総数 105,115千株
- ③ 当中間期末株主数 7,706名
- ④ 大株主

株 主 名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数	出資比率	持株数	出資比率
	千株	%	千株	%
三菱化学株式会社	55,450	52.75	—	—
三菱商事株式会社	12,750	12.13	—	—
株式会社みずほコーポレート銀行	3,700	3.52	—	—
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社信託口	1,491	1.42	—	—
東京海上日動火災保険株式会社	1,254	1.19	—	—
日新建物株式会社	969	0.92	—	—
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社信託口	564	0.54	—	—

主要な事業所／グループ会社

主要な事業所

(平成17年9月30日現在)

名 称	所 在 地
小 名 浜 本 社	〒971-8101 福島県いわき市小名浜字高山34 TEL 0246-54-3111
東 京 本 社	〒104-0033 東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル7F TEL 03-5540-5861
西 日 本 支 店 化成品・機能化学 品営業グループ	〒541-0044 大阪市中央区伏見町4-1-1 明治安田生命大阪御堂筋ビル7F TEL 06-6231-1892
無機化学品営業部 無機化学品大阪 営業グループ	〒541-0044 大阪市中央区伏見町4-1-1 明治安田生命大阪御堂筋ビル7F TEL 06-6204-8422
無機化学品中部 営業グループ	〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-28-12 大名古屋ビル6F TEL 052-565-3554
無機化学品九州 営業グループ	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-19-24 大博センタービル7F TEL 092-432-0103
技術開発センター	〒971-8101 福島県いわき市小名浜字高山34 TEL 0246-54-3115
小 名 浜 工 場	〒971-8101 福島県いわき市小名浜字高山34 TEL 0246-54-3111
黒 崎 工 場	〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石1-1 (三菱化学(株)黒崎事業所内) TEL 093-643-2360

グループ会社

岩 手 レ ジ ン(株)	日化エーピーサービス(株)
小 名 浜 海 陸 運 送(株)	日化エンジニアリング(株)
小 名 浜 蒸 溜(株)	日 化 新 菱(株)
小 名 浜 配 湯(株)	日化トレーディング(株)
日 化 運 輸(株)	日化ビジネスサービス(株)

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
同総会権利行使 株主確定日	3月31日
利益配当金支払 株主確定日	3月31日
中間配当金支払 株主確定日	9月30日
名義書換代理人 同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
郵便物送付先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
電話お問合せ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-707-696 (フリーダイヤル) 自動音声応答サービス 0120-86-4490
	(住所変更、配当金振込指定・変更、 単元未満株式買取請求に必要な各用 紙、および株式の相続手続依頼書の ご請求を24時間承っております。)
上場証券取引所	東京証券取引所
1単元の株式の数	1,000株
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞 なお、決算公告に代えて、貸借対照表 および損益計算書の開示は、次の当社 ホームページに掲載しております。 (http://www.nkchemical.co.jp/investor-j/)